

これからの地域福祉のあり方に関する研究会

議論のとりまとめの構成案

1. はじめに

- 検討の経緯
- 今、地域福祉を議論することの意味
- これまでの「地域福祉」の位置付け（議論の前提として）

2. 現状認識と課題設定

- 少子高齢化の一層の進行
- 家族構造の変容による家庭内の見守り機能の低下
- 地域社会の変化
 - ・ 産業化・都市化
 - ・ 限界集落
 - ・ 地域の連帯感の希薄化とコミュニティの脆弱化
- 福祉・医療政策の動向
 - ・ 近年の福祉制度改革
 - 措置から契約へ、市町村中心（介護保険制度、障害者自立支援法）
 - ・ 基盤の計画的整備

- ・ サービス量の飛躍的な増大
- ・ 在宅重視。施設から地域へ
- ・ 様々なレベルでの自立支援
- 地域の課題
 - ・ 地域における多様な福祉課題
 - 制度では想定していないニーズ
 - 制度の谷間にある者への対応
 - 複合的な課題
 - 社会的排除の対象となりやすい者への対応
 - ・ 「地域でなければ見えない」ニーズ
 - ・ 「地域移行」という要請
 - ・ 住民の自己実現ニーズの高まり
 - 参加意識の高い団塊世代が退職期に入り、元気な高齢者が増加。
 - 住民のボランティア意欲の充足
- 制度的なサービスだけでは十分でなく、住民による支え合いが重要。

3. 地域福祉の意義と役割

- 共助の空間を地域の中に位置づける。

- ・ 共助のシステムを公の(=パブリックな、開かれた)空間として地域の中で設計する。
- ・ 自助のシステムである市場、公助のシステムである政府、共助のシステムであるボランティア、NPOなどが、それぞれの弱点を補い合う。
- 地域の生活課題に当事者として取り組むところから福祉が出てくる。
 - ・ 幅の広い福祉概念
 - ・ 行うことや対象をあらかじめ決めず、必要に応じ事業を組み立てる柔軟性
- 関わる人が自己実現する場を作る。 =住民主体
 - ・ 地域を基本として住民活動ができる場の提供
 - ・ 自治会・町内会の助け合い活動
- 関係者の連携により福祉を推進 = 地域における人間関係の結合、ネットワークとしての地域福祉
 - ・ 地縁的団体と機能的団体の関係はいかにあるべきか。
 - ・ 住民と専門家の関係はいかにあるべきか。
 - ・ 行政・事業者・住民の関係はいかにあるべきか。
- コミュニティ再生の軸としての福祉
 - ・ 地域福祉によるコミュニティの活性化

- ・ 地域の福祉化・まちづくり
- ・ 地域全体の暮らしの質を向上させ、安心・安全の面でも高める。

4. 地域福祉を推進するために必要な条件

- 住民が主体となり、参加する地域福祉
 - ・ 決定における住民主体、住民参加
 - ・ 活動における住民主体、住民参加
- ニーズ発掘のための方策
- 支援の実施
 - ・ 支援の新たな概念
 - 人が生きるためのエンパワメントとしての支援
 - 相手の動きを見ながら自分の動きを決める。
 - 支援をすることで自らもエンパワーされ、自己を実現。
 - ・ 支援を実施する際の関係者の連携と役割分担
- 生活課題に応じた多様なメニューが実施できること
- 住民が主体となり、参加する地域福祉を実施するための環境の整備
 - ・ 活動の拠点
 - ・ 専門的な助言者（コーディネーター）

- ・ 活動資金
- 担い手の条件
 - ・ 活動の核となる人材
 - ・ 様々な人材の連携
 - ・ 後継者の養成
- 適切な「圏域」の設定
 - ・ 生活課題やケアの専門性に応じ、身近なところから市町村に至るまで、
重層的に圏域を設定。
- 行政の役割
 - ・ 住民の地域福祉活動をバックアップ。
 - ・ 公共的決定に当たっての正統性の根拠
 - ・ 住民からのアクセシビリティを保障。
 - 制度的なケアを無差別・公平に適用。
 - 専門的なケアを必要とする者に必要なケアを保障。
 - 最低生活を保障。

5. 留意すべき事項

- 専門家主導としない。

- 多様性を認め、画一化しない。
- 「圏域」は、それぞれのレベルに応じて役割分担を図る多層的なものであり、その役割も固定されたものではない。
- リーダーの人材を確保する。
- 「福祉」の範囲を限定しない。
 - ・ 防犯・防災
 - ・ 教育・文化
 - ・ 建築・まちづくり
- 個人情報の取り扱い

6. 既存施策の見直しについて

- 既存の施策については、上記の方向性を踏まえた検証と見直しが必要。
- 検証・見直しに当たっての基準は次の3点か。
 - ・ 住民主体となっているか。
 - ・ 新たな支援の概念に適合しているか。
 - ・ 地域福祉の推進のための新たなシステムの中に整合的に位置づけられるか。
- これらを踏まえ、既存施策のレビューについてとりまとめ。